

献寿

理事長 内藤望山

新年明けましておめでとございます。

書象会会員の皆様におかれましては、健康に恵まれ最善の一年となりますよう、心からお祈りいたします。

書象誌が今年の七月号で八〇〇号を迎えます。一九五五年（昭和三十年）十二月に創刊号が発行されて以来、連続の刊行を重ねて参りました。信山先生には四十二年間多忙極まる中、また体調のすぐれない時も、数種の手本を揮毫され、編集、発送の運営に携わって来られました。大変なご苦労だったと思います。この慶事を記念して本部では書象誌八〇〇号記念誌を刊行することといたしました。

一月二十三日には、二年振りに新年会を開催いたします。会場は四十年も使用している京王プラザホテルの大会場です。書象会の皆様には、多数ご出席いただき、会員同士の親睦を深め、交流の輪を拡げて下さい。授号式の後、総会、書象会会員の昇格者、並びに昨年度各書展上位入賞者の発表、通信条幅研究会の優秀賞受賞者の表彰が行われます。その後の会食では、テーブルごとに楽しい時間をお過ごし下さい。最後に恒例の本部役員の色紙抽選会もあります。

一月三十日には、本年最初の中央展である第八十四回謙慎書道会展の選考会が行われます。書象会の力量が問われる大切な書展です。最後まで努力を重ねて秀作を発表してください。

この書展をスタートに書象展、読売書法展、日展と続きます。多数の出品を期待しています。添削会、通信添削等で指導された事項に十分注意され、努力を重ねてください。

信山書法は中国伝来の執筆法、指法、懸腕撥鐙法、逆筆藏鋒の技法が要求されます。研修部主催で研修会、各種講習会を随時開催する

二〇二一年 第八回日展 木堂詩「温容」

特別会員 内藤望山

温容如時墨痕鮮
門下終無亦新
倚想起情經求道
爰皆時垂髮既表年

生山

予定です。新しい会員には是非これらの会にご参加ください。書象誌課題や通信条幅研究会の表現が一層高まることでしょう。

昨今、コロナ感染者数の減少傾向が続いています。第六波が訪れぬように引き続き注意したいものです。そして、書象会活動を更に押し広めたく会員の皆様のご協力をお願いいたします。